

令和4年度第2回益田市自転車活用推進委員会 議事録

【開催日時・場所】

令和5年3月20日（月） 13：30～15：00

益田市立市民学習センター 202研修室

【議事次第】

1. 開会挨拶 産業経済部 梅津部長
2. 議題
 - (1)益田市自転車活用推進計画の進捗状況について
 - (2)報告事項
 - ①益田市自転車ネットワーク計画について
 - ②益田市高津川かわまちづくり計画について
3. その他

【配布資料】

- 資料1 益田市自転車活用推進計画の進捗状況について
資料2 益田市自転車ネットワーク計画について
資料3 益田市高津川かわまちづくり計画について
参考資料① 益田市自転車活用推進事業補助金について

[推進委員会の様子]



【出席者名簿】

推進委員					
No.	所 属		職 名	氏 名	出欠
1	公立大学法人島根県立大学		准 教 授	松 田 善 臣	○
2	島根県自転車競技連盟		理 事	永 井 伸 次	○
3	サイクルライフナビゲーター			絹 代	○
4	益田市教育委員会		委 員	原 田 笑	○
5	島根県在宅保健師等の会「ぼたんの会」		益 田 地 区 幹 事	長 野 知 恵 子	○
6	益田市障がい者福祉センター あゆみの里		就労継続支援B型 事業所管理者	笹 川 理 英 子	欠席
7	有限会社森谷		代 表 取 締 役	森 谷 典 子	○
8	益田市連合自治会長会		会 長	澤 江 佑 三	○
9	益田サイクリングサークル			村 川 修	○
10	一般社団法人益田市観光協会		事 務 局 長	仲 田 千 恵 理	欠席
11	益田警察署 交通課		課 長	内 田 貴 司	○
12	国土交通省中国地方整備局浜田河川国道事務所 調査設計課		課 長	花 田 憲 治	欠席
13	島根県益田県土整備事務所 維持管理部管理第一課		課 長	安 田 修 二	欠席
事務局					
No.	所 属		職 名	氏 名	出欠
1	産業経済部		部 長	梅 津 明 則	○
2	〃	観光交流課	課 長	岡 崎 健 次	○
3	〃	〃	課 長 補 佐	板 井 泰 紀	○
4	〃	〃	主 任 主 事	池 田 尚	○
5	〃	〃	主 任 主 事	桑 原 愛 実	○
6	建設部	土木課	課 長	青 柳 修	○
7	〃	〃	課 長 補 佐	金 崎 正 照	○

【議事録】

議 題

(1)益田市自転車活用推進計画の進捗状況について

(事務局説明記録省略)

委員長	<p>皆様からのご意見・ご質問の前に私から1点。 資料1-2について、示された全ての実施主体が団体企業となっているが、団体企業というのは例えば警察や学校、教育委員会などがこの中に全て入っているのか。誰がやるかという部分は重要だと思うのでここがざっくりしているとよくわからないなと思いました。 少し説明していただけますか。</p>
事務局	<p>計画に各施策に対する取り組みの内容等が記載してあります。実施主体者については、道路管理者、交通管理者、団体企業、市民の4つ掲げており、そこから今回の進捗調査表に落とし込んでいます。 例えば、警察は交通管理者のところに入ります。</p>
委員長	<p>何となく安全教室は、警察もっと頑張れよと思ったのですが。 来年度以降、実施主体をもう少し具体的に書いていただいた方がイメージしやすくなるかなと思いますので、その辺ご検討いただければと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。検討いたします。</p>
委員	<p>今回補助金について、交通安全教育は、あなたやりましようでできるものではないと思います。 例えば安全教室は、しっかりと対象の方に伝えなければいけないことを伝え、モチベーションを保ちながらやっていただけるスキルと知識がある団体や企業が市内に潤沢にいらっしゃるのでしょうか。 いないのであれば、補助金を作ったところで手を挙げてくださる対象が既にあることになりまして、私もいろんな教室をやっていて教室ってそんなに簡単ではないです。自転車屋さんだったら乗り方を知っているけど道路交通法を知らないこともありますし、できる人って実際には限られてくると思います。実施主体が団体企業って見て、どこの団体さんやどこの会社さんが言われたのかなと思ってしまいました。 健康教室に関しても、例えば自転車でどんな体の使い方をするから体に効くよ、みたいな知識と誘導ができるような方がもう既にいらっしゃるのか、いらっしゃらない場合は目標を掲げて補助金を作って持っても、申請が出る可能性が非常に低いし、目標に到達しないんじゃないかなと思います。 補助率をみても、サイクリストサポート企業であれば15%持ち出しで</p>

	<p>やらなきゃいけない。持ち出しがあってもやりたいという強い情熱がないとできないし、イベントであれば参加者から参加料、参画企業からの共済で補われるかもしれないが、安全教室にお金を出してまで参加することはないので、同じことを来年度やっても多分同じ結果になってしまうと思います。</p> <p>交通安全教育についてどういう風に捉えていらっしゃるのか知りたいなと思いました。</p>
事務局	<p>今回は、募集チラシを作成し配布等情報発信はしましたが、おっしゃられる通り実際に交通安全教室や健康教室をする際に、誰に頼めば実施できるのか等わからない部分が多くあり活用しづらいご案内だったと思います。来年度は、より具体的に講師や開催できる教室の内容等を合わせて情報提供していく必要があると考えております。</p>
委員	<p>情報はどこへ提供するのでしょうか。</p>
事務局	<p>該当事業の実施を検討していただける団体について関係課と相談し、集まる場（協議会等）での情報提供をしていこうと思っています。</p>
委員	<p>小中学校での交通安全教室の開催について、全学年1回開催という目標は、日本最高峰のクオリティだと思います。</p> <p>他県の小学校では、卒業までに0.3～0.5回ほどしか開催できていなかったりする中で、益田市の目標は胸を張っていいと思います。逆に小学校卒業までの目標を4回にして、残りの労力を保幼とその保護者さんへの交通安全教育に振り分けてもいいのではとも思います。</p> <p>補助金を活用して、紙芝居のような、誰でもルールをわかりやすく漫画形式で教えられるものを作って、知識がなくても子ども達と一緒に学ぶことができるものを作ってはどうか。</p> <p>補助金を用意して手を挙げてくれる人を待つよりも、かなり確実性が高く、それを受け取った方が、例えば講師講習会みたいなものをやればどんどんスクールを再現できるので、スクールのハードルが下がってくると思います。</p> <p>補助金のあり方を検討するのであれば開催してくださる方を探さず、確実な知識から皆さんに広げていく方向に切り換えてもいいんじゃないかなというふうに思いました。</p>
事務局	<p>実態として、安全教室はPTAが主体になって実施していて、学校の先生方も参画しており、PTAの事業費を使って安全教室を開催しています。小中学校校長会等に情報提供しながら進めていましたが、PTAの認識と学校の年間行事に組み込む必要などもあるため、今後は、事業主体さんのところに丁寧に届くような働きかけも必要かなというふう</p>

	<p>に思います。</p> <p>今言われたようなプロダクト（紙芝居等）を作り、普及・提供していくというやり方もとても参考になったので検討していきたいと思います。</p>
委員	<p>他県の PTA では、実は交通ルールがわかってなかったという方が多いので、内容も確認しなければ怖いなと思います。</p>
事務局	<p>開催の主体者が PTA にはなるけれど、教えるのは警察の方をお願いするというような形になると思います。</p>
委員	<p>こういう事業は補助金対象にはならないものが多いのでは。</p>
事務局	<p>PTA を主体者とすれば対象になります。学校が主体者となるのは難しいので、PTA 事業ということを想定して補助金を作っていた部分もあります。</p>
委員	<p>事務局の方から PTA にアタックしているのか。情報提供をして、申請を待つのか。</p>
事務局	<p>全部ではないですが、こちらからアプローチもしています。</p> <p>今回の報告書は、主体的に取り組まれている数字をピックアップしたものです。</p>
委員	<p>そういう体制があるのは本当に素晴らしいことだと思うので、それがきちんと響いていて、子ども達なり保護者がちゃんと自転車に乗って成果になっているのかというところも見ていった方がいいと思います。</p> <p>益田市では免許返納して自転車に切り替えられる方はおられるのでしょうか。</p>
委員	<p>調査はしたことないので、はっきり自動車から自転車へ切り替えられた方が何人いるかはわかりませんが、大体返納される方というのは足腰が弱くなってきた方が多いので、私の感覚的には自転車への切り替えは少ないと思います。</p>
委員	<p>今日本が目指している方向性としては、運転免許を返納したら外出しないという風にならないように、幾つになっても動ける健康寿命を延ばすために、自転車を 50 代ぐらいの大人の年齢から始めようという立ち位置です。</p> <p>それを推し進めるとしたら、小学生の交通安全教室の実施が卒業までに 4 回になったとしても、幼稚園生や高齢者の方に対するものがあっていいんじゃないかなと思います。</p> <p>一番最初に私が自転車活用推進のお話いただいたときも、やっぱり益田市民の皆さんが健康でいられるように自転車を活用したいという話</p>

	<p>を伺っていて、それが合うとしたら、シニアの方の交通安全教室だと思います。報告の中で、交通ルール等のチラシを配布したと説明があったが、チラシはほとんど読まれません。</p> <p>障がい者の方は障害の内容によっては、楽しめる内容や気を付ける内容が変わってくる。一緒に楽しむ中でどうやったら安全に楽しめるかをみんなで考える会がベストではないかと感じます。安全教室だと固い感じになってしまうので、どうやって楽しむかを考えるといいと思います。</p> <p>高齢者の方に関しても、安全利用というよりもどうやったら安全に乗れるかみたいところで、何か計画ができればいいと思います。</p> <p>お子さんは集めてお伝えできるんですけど、社会でいろいろ経験を積んできた大人の人達を集めてルールのものを伝えるのはすごくハードルが高くて、全国でも大きな課題となっています。</p> <p>しっかりと1個枠を作って考えてくださっているので、みんなで健康のために、いつまでも動ける体を作るために健康部分と合わせて自転車教室が開催されるぐらいの柔軟性があった方が響くんじゃないかと感じました。</p>
委員	<p>対策案として、益田市全域は広いので、取り組みに関心のある地区をモデル地区として決めて、健康教室や交通安全教室など様々なことについて、地域自体のあり方として主体的に考えてもらえるといいのではないかと思う。</p> <p>地域の皆さんで取り組んでもらった方が、我が身のことになってできるので、4月から始まるヘルメットの着用努力義務について、自分たちでどうやっていくのか等話し合ってもらうことが一番大事だろうと思っています。</p> <p>先日、松島自転車さんに行ってお話聞きましたら、益田が自転車のまちとして掲げているような取り組みをしてきたことの成果だと思えますが、自転車の販売が急激に増えていると。それは、自転車に乗る人が増えた分だけ危険も増えているわけで、実態を各地域にお話して、自分たちでその危険をどうクリアしていくか、どういう教室が必要か、子ども達だけでなく大人の危うさもありますので、不安な人を集める等いろんな切り口があると思いますので、その辺を地域ごとに進めていただければと思います。</p> <p>モデル地域として、非常に関心の高いところから、我々サイクリングサークルのメンバーや松島自転車さん、警察や健康のアドバイスができる方が地域に関っていくこともできると思うので、いろいろなやり方を</p>

	検討していただきたいと思います。
委員	自転車に対してのアドバイスができる企業が益田にありますか？
委員	松島自転車さんや、NPO 法人町おこしの会の斎藤さんなどはかなりの知識をもっていると思います。
委員	<p>せっかくサイクルサポート企業さんの情報が出ているので、例えばサイクリストのサポートと、乗るためのルールを教えてくれる、サポートができる企業さんもあるといいのではないのでしょうか。</p> <p>親としてはどこに交通ルールを聞いていいのかわからず、結局 YouTube や Google 検索になってしまう。せっかくグーグルマップでサイクルサポートが出るので、安全安心に乗るためのルールが聞ける場所とかを開示されるとわかりやすくて良いのかなと思います。</p>
委員	<p>ルールを指導できるサポート企業さんはほとんどいないんじゃないかと思います。</p> <p>県の自転車連盟の登録企業さんに聞いてもルールを細かく把握して、指導の練習をしているかというところではないと思います。</p> <p>交通安全のサポートができるって相当な知識が必要だと思います。</p>
委員	ということは、補助事業を使って安全教室をやることはとてもハードルの高いことなんですね。
委員	<p>歩道 1 個とっても、歩道は車道寄りを通らなければいけないことを知らない方がほとんどです。でも、それは安全五則に書いてあるんです。今それぐらいの状況なのだから、安全教室の実施は難しいぞと私も感じていて、それよりは確実なキットを 1 つ警察さんに監修していただいて作ってしまった方がいいと思います。見た目もありきたりな真面目なものではなく、益田はデザインがいいので益田っぽいデザインで作っていただけたらハードルを下げられますし、私は今の状況を総合するとそういうキットを作っちゃうのが一番いいんじゃないかなと思います。</p> <p>ルールを聞かれて答えたことが間違いだったらどうしようっていう不安があると思いますが、キットがあれば確実なので、何か 1 つそういう拠り所になるものを作るといいと思います。</p>
事務局	警察にはそういう自転車啓発の安全啓発のビデオがあるんでしょうか。
委員	あるにはあります。小学校などでも使っているんですが、DVD でそこまで詳しく説明しているものではないんです。
委員	警察さんのは、真面目なので、自転車安全利用五則は多分みんな人生で 1 回は読んだことがあるのに、頭に残らないんです。

	<p>記憶に残るような、デザイン性のいいものだったり子ども達を読みやすいようなものを作って、親子で見ただけであればいいと思います。チラシは捨てられてしまうので、捨てられない紙芝居形式であったり、パワーポイントで提供できて誰でも再現できるといいと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。他には何かありませんでしょうか。</p>
委員	<p>補助事業のハードルが高いように感じていて、教室とイベントの2つに分けてしまうのではなくて、もう少しいろんな企業や団体の方が参加しやすいような枠を設けてみたらいいんじゃないかなというふうに思いました。</p> <p>例えばサイクリストの方って大きな荷物を持ったまま長距離を移動するわけにはいけないので、途中で温泉とかに立ち寄りたくなってときに、サイクリストさんのために温泉貸出キットを作るとか、サイクリストさんが水を飲みやすいようにするために企業の手前にウォーターコートを設けるとか、そういう自転車に乗る方に優しいまちづくりというような枠組みを設けられてもいいんじゃないかなというふうに思いました。</p> <p>そうすることで、地元の人たちも、自転車で来たらこういうサービスが受けられるということが、自転車に乗る機会が増えることにも繋がるんじゃないかなと思います。</p> <p>相談はあったけれども申請には至らなかったっていう件数が何件かあったというのは、その辺の課題があるんじゃないかなというふうに感じました。以上です。</p>
事務局	<p>今回補助金のご相談を受ける中で、具体的な案が出たりもしましたが、補助率が100%ではない場合に手出しが必要であったり、そもそもハードルが高かったのか相談自体があまりなかったという状態です。</p> <p>来年度の募集については、計画の進捗状況も踏まえて内容の再検討が必要だと思っております。ご意見ありがとうございます。</p>
委員長	<p>進捗表と補助金の話が連続していたので、事業を推進するために、全てこの補助金を活用するみたいな感じに聞こえてしまっていますが、別の話だと思います。</p> <p>事業を実施する方や推進のため団体等へ声掛けをする方が誰なのかももう少し明確にされるとわかりやすいかなと思いますので、来年度はその辺をきちんとしていただければと思います。</p> <p>その他ご意見ございますでしょうか。</p>
委員	<p>施策14自転車による健康教室の開催について、今年の実施が難しかったとありますが、一体何が難しかったのでしょうか。</p>

	<p>年度途中で会員にアンケートを実施しており、健康教室については意見が出ていて、自転車に特化した専門の知識を持つ人がいないとできないのかというところがあった。健康運動指導士であったり、安全な乗り方については警察の方をお願いする、健康指導士とタイアップしながら、健康増進課も含めて役割分担をすればいいと思います。私は特化した内容が本当に必要なのかなと疑問に思っています。</p> <p>また、その時に書いたアンケートはどうなったのか、アンケートを検討していただいたのかどうなのかわからない。</p> <p>今後進めていく上で、自転車に特化したっていうのはなかなか難しいと思うので、例えば地区の公民館事業とタイアップしながら、今年度は高齢者を対象にするとかしないと、具体的なものが見えてこないのかなと思います。</p> <p>専門知識とかスキルはこのままだったら全然進んでいかないと思うので、本当に実施できない教室なのかというところはもう一度ちゃんと検討していく必要があるかなと思います。</p>
委員	<p>そもそも開催するのは健康教室でなければならないのでしょうか。</p> <p>教室の開催のハードルが高いのであれば、情報発信にしたり、そもそも年に2回健康教室をやっても益田市全体を見ると難しいと思う。</p> <p>今後の取組みが運動習慣を定着させるという意味であれば、啓発が必要となるんですが、習慣というよい生活活動強度上げることが多分課題なんだと思います。</p> <p>車移動をちょっと自転車にシフトするライフスタイルのチェンジなどで十分成果は出てくるので、無理に教室を開催するのではなく、生活の中で車から乗り換える提案であったり、例えば第3日曜日は自転車に乗ってみるレンタサイクルを使う日を作る、とか、具体的な提案ができれば、もしかしたら成果が出やすいのかなと思います。もう少し皆さんのやりやすいようにやっていった方が持続可能という気がしました。</p>
事務局	<p>本来の目的は健康づくりをする市民の割合を増やす、自転車利用の割合を増やすなどがあり、その大きな目的を達成するための個別の取り組みとしていろんなものが積み上がっています。その中で特に評価していかないといけないと決めたのが本日報告した項目です。</p> <p>ですので、ここだけ掘り下げていくと、今の大きな目標に本当に届くのかというような疑問も出てくるとは思いますが、大きな目的のための手段として掲げているものですので、今いただいたご意見や先ほどあったアンケートの答えなどを積み上げていき、次の施策の展開に活かしていくことで本来目指すべき目的に到達できるように近づけていき</p>

	<p>いと思ってます。</p> <p>今いただいた意見をもとに、次年度の取り組みの評価にしていき、柔軟にやっていきたいと思います。</p>
委員	<p>「自転車」を頭につけるからやりづらいのかもしれない。健康づくりは色々な方法でできるけれど、自転車を使ってやりなさいって言われてしまうと難しく感じてしまう。健康づくりをしていくために自転車を使ってこんなことができるよというような提案が必要だと思う。</p> <p>自転車を活用することで健康づくりにすごくいいとは限らないと思っているが柔軟に考えていく必要があると思う。</p>
事務局	<p>いろいろな意見があると思いますが、自転車の活用をどう進めていくかがベースにありますので柔軟に考えていきたいと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。他にご意見がないようですので次に参ります。</p>

(2)報告事項 ①益田市自転車ネットワーク計画について

(事務局説明記録省略)

委員長	<p>ただいまご説明がありました益田市自転車ネットワーク計画についてご質問、ご意見等ございましたらお願いします。</p>
委員	<p>計画の目標のところ、自転車の通行に関して満足度 60%、ヒヤリハットの対策に関する満足度 60%と非常に高い目標値が掲げられていて、すごいなと思いました。</p> <p>また他県の話ですが、横浜の目標値は 23.1%で 75%が怖いと思う道路を目指してどうするんだろうと思っていますが、益田市は皆さんが安全にまちを使えるようにというのを念頭に進めてやっていらっしゃるのですすごいなと思います。</p> <p>前回(第1回)の委員会の際に、本来自歩道内の安全対策というのは非常に危険なので、しっかりと分離をして、絶対に歩行者と自転車が交錯しないような形にしますということだったんですけど、今回のモデル写真の中に、工作物がなくペイントされただけのものがあったのでこれが心配だなというふうに思いました。</p> <p>自転車に乗ってる方に色を塗り分けて、こっちをゆっくりと進んでくださいと言っても、私の経験では 100%聞かないので、この中で交錯が起きて、より危険度が上がってしまうのが現状です。自転車安全利用五則でも、自転車は車道が原則という形に今明言されております。自歩道内の安全対策は、ある意味逆行してしまうような形になっているのが個人的にはとても不安です。</p> <p>今日、委員会の前にルートを作るために、市内を自転車でかなりで走っ</p>

	<p>てきたんですが、ドライバーさんが非常に優しくくださり、しっかり間を空けてくださっていますので、そもそも心配するところはないなというふうには感じてはいますが、一旦歩道に上げましたというのが見える形になってしまうと、ドライバーはもう自転車は危ないから歩道に上がれというふうになってしまう。そうすると自転車が歩道から降りられなくなってしまいうんですね。</p> <p>せっかく 100ゼロのまちをうたってサイクリストを招いてるのに、自転車は歩道に流れて歩道上は徐行が原則ですから、なかなか進めないとなってしまうので、私自身はせっかく掲げられた 100ゼロというのに逆行してしまうのがとても心配。</p> <p>例えば市役所前の道路などは、並行しているキヌヤの前の道路が交通量が少ないので、そこに自転車を流す等サブ的な提案があってもいいんじゃないかなというふうには思いました。</p> <p>国も話し合いに入っていると思いますので了解しているんだと思うんですけど、色分けをして歩道を走れるようになったと言ってしまうと今後自転車が車道を走れなくなると思います。そのようなことがないようにしてほしいです。</p> <p>歩道上にいて自転車が危険になるから車道に降ろそうというのが今の流れですから、歩道上の守られるべき方々の安全が守られるようご配慮いただきたいと思います。</p>
事務局	<p>ご意見いただきましてありがとうございます。</p> <p>今後、計画の期間の中で検討して参りたいというふうに思っております。</p> <p>やはり国、県、道路管理者とのそれぞれ協議の中でやはり議論になったのは、今益田市においては路肩幅が十分に確保できていないという状況がありまして、道路空間の再配分を行う整備には、予算の関係であったり、長い時間が必要であったりと非常にハードルが高い部分がございます。</p> <p>ですが、先ほど説明のところで申しましたように、それぞれ道路管理者と一緒にこの計画を作っていこうとしています。自転車も補歩行者も安全に通行できるような、形のものを進めていこうという共通認識に立てたというところは、非常に大きい一歩だったろうというふうに思っています。</p> <p>先ほどのご意見についても、まずは第一歩がないと次進めないというところがありますので、今後この計画を策定して、いただきましたご意見も、踏まえながら、見直し等も検討もしていきたいというふうに思っ</p>

	ております。
委員長	自転車活用推進計画の中で、22ページにアンケートとってしまして、自転車通行の際どういう時に危険に感じるかということで、市民高校生の中で一番回答が多かったのが、凹凸や段差のある路面通行というのが一番に挙げられています。なるべく凹凸や段差をなくすということを自転車ネットワーク計画の中に入れていっているのかどうかを教えてくださいませんか。
事務局	計画自体の中には含まれてはおりません。 その辺のところは、通常の市道の維持管理の範疇の中で対応しております。当然、自転車が通学等によく通られる路線等につきましては、常にパトロールをしながら、また情報提供もいただきながら、修繕の方は随時行っていきたいというふうに思っています。
委員長	目標の中に自転車が通行しやすい道路に関する満足度は60%上げていますので、通行しづらいと感じる理由が、凹凸と段差でしたので、ここを重点的に解消しないことには、あんまり意味がないかなと思ったので確認しました。
事務局	やはりこうしたネットワーク計画を作って、市民の声を踏まえて、整備してきますので、重点的に維持管理の方も努めていくということになろうかと思っております。
委員長	ありがとうございます。 ご意見ご質問出尽くしたと思いますので次に参りたいと思います。

(2)報告事項 ②益田市高津川かわまちづくり計画について

(事務局説明記録省略)

委員長	ただいまご説明がありました益田市高津川かわまちづくり計画についてご質問、ご意見等ございましたらお願いします。
委員	自転車活用とかかわまちづくりというのは、非常に強く連携していただきたいと思う。この委員会でも拠点やサイクリングロードを活用したイベントについての呼びかけであったり、考えてもらうことをお願いしたいなと思ってます。 市民の皆さんの関心も高まりますし、サイクリングロード普及と流鏝馬公園付近の拠点をそのように活用していくのか、情報提供をその地域の皆さんにしてもらい、積極的な話し合いの場を地域で作っていただけたらと思う。よろしくお願いします。
事務局	ありがとうございます。 来年度も自転車活用推進に対する補助金を予定しておりますので、活

	<p>用してもらいながら、事務局で全体を調整しながらやっていきたいと 思います。 ありがとうございます。</p>
事務局	<p>地域の人たちが自分たちの新しい拠点ができたということで、活動 をしている皆さんと、まずはまちづくりの事業が採択されてスタートす るというご認識と、一緒に取り組みを進めていきましょうという活動 を進めていき、同時に出てくる管理の部分について、利活用と管理を地 元の方と一緒にやっていきたいと思っております。 また報告させていただきたいと思えます。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。 皆様ご意見ご質問出尽くしたと思いますので、以上で議事を終了させ ていただきます。</p>

以上、閉会。